

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	成羽町立成羽小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	2	1	2	2	1	11	16
児童数	50	36	45	30	51	46	2	260	

研究の概要

1. 研究主題

「主体的に学び、確かな学力を身につけた児童の育成をめざして」
～算数科における指導方法・指導体制の工夫改善～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

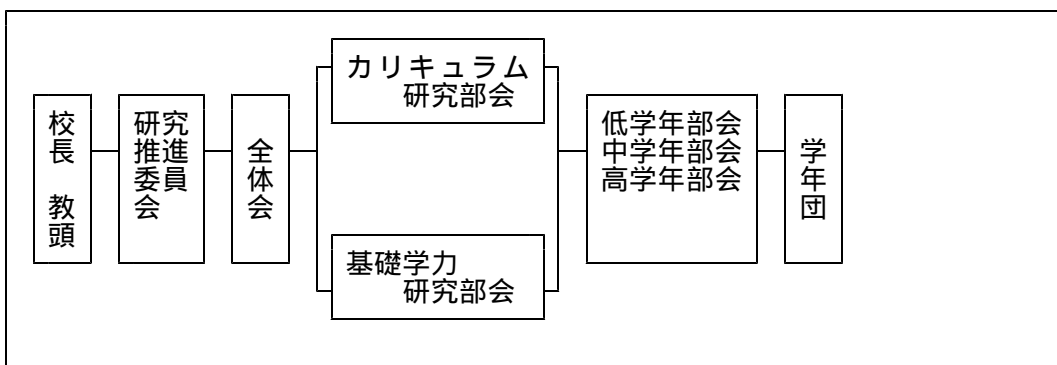
全学年・算数（研究の成果・課題を把握しやすい。児童の理解度に差が出やすい教科。）

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ 「主体的に学び、確かな学力を身につけた児童の育成をめざして」 ～算数科における指導方法・指導体制の工夫改善～</p> <p>研究の見通し 児童一人一人の個性を生かし、きめ細やかな指導が充実していけば、主体的に学ぶ力を身につけることができ、学力の向上につながると考えた。</p> <p>研究の内容・方法 (1) 指導体制の工夫 (2) 指導方法の工夫 (3) 家庭との連携</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ 「主体的に学び、確かな学力を身につけた児童の育成をめざして」 ～算数科における指導方法・指導体制の工夫改善～</p> <p>研究の見通し 児童一人一人の個性を生かし、きめ細やかな指導が充実していけば、主体的に学ぶ力を身につけることができ、学力の向上につながると考えた。</p> <p>研究の内容・方法 (1) 指導体制の工夫 ・個に応じた指導 ・指導計画の見直し ・継続的な指導 (2) 指導方法の工夫 ・学習過程の工夫・改善 ・問題把握の充実 ・教材の開発 ・算数的活動の重視 ・基礎基本の学習内容の定着 ・算数的環境づくり ・評価の工夫と評価を生かした指導の改善について (3) 家庭との連携</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- (1) 指導体制の工夫
チームティーチングによる指導
・きめ細やかな指導ができ、個別指導がしやすくなった。
コース別に分けての指導
・様々なコースの分け方が研究できた。
・児童の習熟度に合わせた指導ができやすくなった。
- (2) 指導方法の工夫
学習過程の工夫・改善
・ある程度パターン化したことで、自力解決する力が付いてきたように思える。
評価の工夫と評価を生かした指導の改善について
・一人一人の学力の正確な把握ができた。
・自己評価能力を付けることで、コース別に分かれるときに自分にあったコースを選択できるようになってきた。
・相互評価をすることで、友だちのよい面を見つけようとする気持ちが出てきた。
- (3) 家庭との連携
基本的な生活習慣の確立
・保護者の意識の変化が見られるようになった。

2. 今後の課題

- (1) 指導体制の工夫
チームティーチングによる指導
・打ち合わせの時間、学校行事等で減少傾向の授業時間の確保。
・指導観・評価観の共通理解。
コース別に分けての指導
・複数教師で指導する場合、進度・指導内容の連絡調整。
・発展的コースで学習するのに適した教材開発。
・補充的なコースで学習するのに効果的な指導法。
- (2) 指導方法の工夫
学習過程の工夫・改善
・1単位時間の指導法のさらなる研究。
評価の工夫と評価を生かした指導の改善について
・指導と評価の一体化の研究。
- (3) 家庭との連携
基本的な生活習慣の確立
・基本的な生活習慣定着のためのよりよい方法の研究。

学力等把握のための学校としての取組

- ・年1回の学力検査の実施
- ・学期ごとの平均点の推移
- ・算数アンケート調査の実施
- ・基本的な生活習慣と学力の関係についての調査

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・平成16年度(11月)に研究会を開催する予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無